

## インターバンクの声（2015年3月18日）

ニューヨーク市場の序盤に発表された2月の米住宅着工件数が予想よりも極端に悪い結果だったが、意外と思えるほどドル売り反応がなかった。建設許可件数の増加が着工件数の大幅マイナスを穴埋めした部分もあっただろうが、特定のひと月分の指標結果よりも連邦公開市場委員会（FOMC）の結果、とりわけ声明文中の『忍耐強く』との文言の削除の有無など、利上げ時期を見極めることに気持ちが向っているのだろう。前日には200ドル以上も値上がりして終わったニューヨーク・ダウ平均も、昨日は100ドル強値下がりして終わった。利上げへの警戒感による株価の値下がり反応だろうが、本来であれば利上げは経済の堅調さと表裏一体のものだが、結構多くの人たちが利上げ後も米経済の堅調さが続くのかを不安に思っていることも値上がりが続かない理由だろう。FOMC 声明文に変更があればそれなりにドルも動くだろうが、より大きな反応が起こるのはイエレン議長の会見内容が伝わり始めてからになるのかも知れない。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。